

(様式2)

支部事業報告 (砺波・小矢部・南砺支部合同)	開催日	2020年11月7日(土)
	時間	9:30~11:30
	場 所	南砺市福野体育館会議室
テーマ	看護連盟の活動を理解する アドバンス・ケア・プランニングを学ぶ	
参加対象者	会員・非会員	
参加人数	64名	
事業目的	看護連盟の役割を理解し、活性化を図る	
研修会名	令和2年度第2回地区支部合同研修会	
参加対象者	会員・非会員	
参加者数	会員 55名	非会員 9名
主 催	富山県看護連盟砺波・小矢部・南砺支部	
事業(研修)目的	地域で開催されている人生会議を学び、実際に行う意思決定支援に繋ぐことができる	

【内 容】

講演:「地域で支えよう人生会議」
～知ろう・聴こう・語ろう～

講師:公立学校共済組合 北陸病院
緩和ケア認定看護師 中村香織先生



富山県緩和ケア認定看護師
砺波支部の方々にもご協力
いただきました



新型コロナウイルス感染対策を
行っただけで研修を開催しまし
た

実際に、シートを使って、自分自身の「人生の最終段階」について考えてみた。

また、アドバンス・ケア・プランニングを始めるためには、まずその人らしさを知ることが必要となる。その人らしさを知るためには、相手に関心を向けること。そこで看護職に求められることは、日々のケアの場面で十分コミュニケーションをとっていくことが大切と、実践する時の方法を分かりやすく説明していただいた。



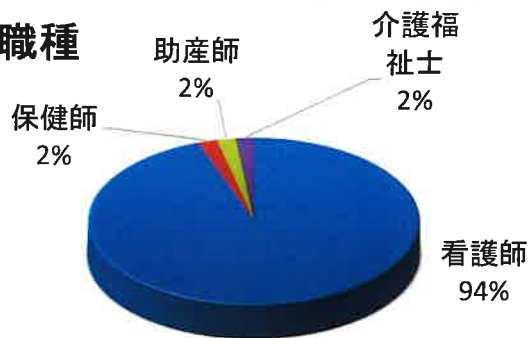
まとめ

コロナ禍の中、今年度2回目の研修も感染対策をし、参加者を例年の半数で研修開催することができた。

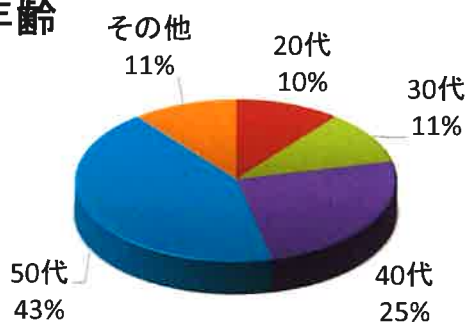
講演は、前年度好評であったアドバンス・ケア・プランニングの2度目の研修を行った。今回は、動画でアドバンス・ケア・プランニングを身近なものとして説明されたことで、医療者や地域住民にも浸透させていかなければならないと感じた。また在宅・病院での事例で、患者・家族と看護師の対話形式で実際の支援を場面を再現され、進め方を学ぶことができた。地域でACPを実践していくためには、病院・在宅・地域の看護職が、それぞれ実践した意思決定支援を繋いでいくことが重要で、人生の最終段階の選択が良かったと思ってもらえるよう話し合いを重ねていきたい。

【アンケート結果】 回収 55名 回収率85.9%

職種



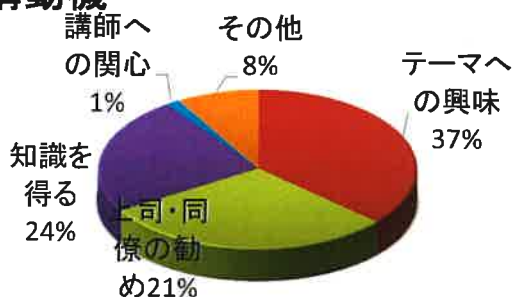
年齢



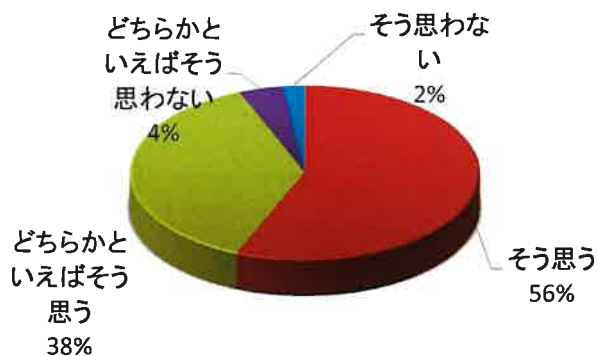
連盟加入の有無



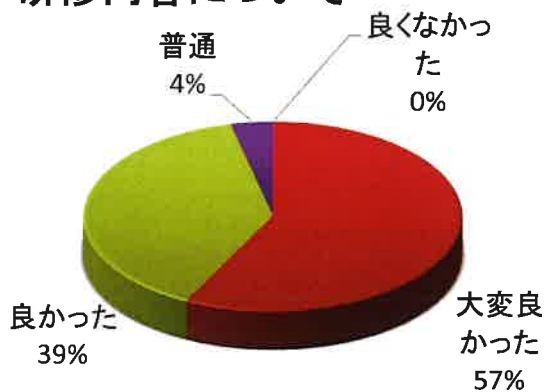
受講動機



研修会継続していくべか



研修内容について



* 研修内容の意見・感想

- ・今、職場で重要なテーマで勉強を始めたばかりなので参考になった。
- ・もっとACPについて学習していきたい。
- ・ACPについて、施設内でスタッフに伝えていくことは大変重要なこと。
市民にはなじみのない言葉なので、広く住民に伝えていってもらえることは良いと思う。合わせて、「終活」も広める活動もして欲しい。
- ・ACP・地域包括ケアを推進していくためには、医療保健福祉の連携が必須と感じている。
地域住民の啓発には、保健分野の連携が必要と感じる。
- ・患者との何気ない会話でも、意思・思いを引き出せる声掛けができたらと思った。
- ・日常の会話の中で、本人の考えていること大切にしていることなどヒントがあると分かった。
- ・「その人らしさ」を知るのはとても難しく、コミュニケーションの大切さを知った。
- ・明日からも会話を大切にアンテナを張って看護しようと思う。
- ・ターミナルの患者さんを受け持つことがあるので考えさせられた。
- ・人生会議の事例を聞くことで、どう進めていくのか分かった。
- ・その人の思いを、その時に関わった看護師が紡いでいく必要性を強く感じた。
- ・意思表示のできない患者や、家族の面会の機会が少ない中、どのようなことができるか考えたい。
- ・アドボケートとしての役割がより強く大切だと感じた。
- ・コロナ禍での家族とのつながりが難しい。
- ・研修は分かりやすかったが、実際は難しいと思う。
- ・事例や地域活動の資料が欲しかった。
- ・チームでの講義内容が良かった。
- ・講義・動画・事例紹介と構成・進め方がとても良かった。
- ・寸劇など地域での活動を知ることができてよかった。
- ・緩和ケア認定看護師の方々のお話が上手でとても聞きやすかった。
- ・ACPは苦手であるが、まずは自分・家族から取り掛かり、少しずつ看護に活かしたい。
- ・ACPで困ったことがあれば、緩和ケア認定看護師に相談したい。
- ・もっと事例を知りたかった。
- ・今後のチームの活動に、更なる期待をしたい。

* 研修会全般の気づき・意見

- ・流れがスムーズで分かりやすかった。
- ・コロナ禍で会場の設定など大変だと思った。
- ・会場が広く、新型コロナ対策をしっかりしてあると感じた。
- ・会場と参加者数は適していた。
- ・プログラムがないのは、受講生への配慮が足りない。
- ・慣れない会場のため準備に不備があった。
- ・パソコンの不具合が気になった。
- ・始めは少し寒かったが、後は暖かくなったので良かった。
- ・アンケートの「研修会を継続していくべきか」の質問の意味が分からない。

* 研修会で取り上げてほしいテーマや講師、連盟への要望

- ・新型コロナウイルス感染の中なので、感染対策の研修。
- ・感染病棟がない医療施設でのゾーニングについて
- ・看護マネジメント
- ・日々のリフレクションのやり方
- ・若手をどう育てるか
- ・面会制限がある中での、患者・家族との関わり方(看取りの看護)。